

ざっそう

NO. 5/2026 (通算819号)

2026・3月号

建交労 関西合同支部

e-mail kgs8815@yahoo.co.jp

TEL 075-205-0421

FAX 075-203-8405 部内資料

春闘本番！ 建交労3.5中央行動！！ 厚労省・国交省交渉・国会議員要請実施！

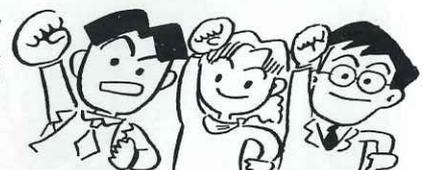
建交労は、全労連・国民春闘共闘が実施した中央行動とも連携して2026年春闘勝利をめざす3.5中央行動を行いました。全国から130名超の仲間が東京・ビジョンセンター赤坂、霞ヶ関周辺に集会・省庁交渉・国会議員要請のほか、業界団体への要請などを展開し、支部からも8名が参加しました。足立中央執行委員長は主催者挨拶で「アメリカ・イスラエルによるイランへの先制攻撃に強く抗議し、即時中止を求める。日本政府に対しても戦争中止の働きかけを」と糾弾しました。続いて「トラックでは首都圏集交団が先頭を切って有額回答を引き出した。その他の部会でも統一要求基準を作り、各地の闘いを押し上げている。建交労の力を結集し、物価高騰を乗り越えるために賃上げを必ず勝ち取る春闘を展開しよう。組合員の生活を守る取り組みを展開しよう」と訴えました。



この後総決起集会は、全労連・黒澤幸一事務局長から連帯の激励のあいさつを受けました。

つづいて業種部会、県本部代表による決意表明が行われ、支部では福岡ブロックの緒方さんが全国トラック部会事務局次長として決意表明を行いました。その後各職場で取り組んだ厚労大臣宛の個人請願書を厚労大臣担当官提出しました。

午後からは日比谷公園周辺で全労連の全国のなかまが結集した全労連・春闘共闘中央総決起集会へ参加し、その後福岡ブロックの仲間は石油連盟との交渉、その他のメンバーは第2参議院会館へ移動しトラック部会による省庁交渉・国会議員要請行動などを行いました。



26春闘本番！ トラックパレード・決起集会開催！



大阪

3月8日、夢洲にて「26春闘勝利！3・8大阪トラックパレード決起集会、大阪トラックパレードが開催され110名、トラック31台が参加しました。支部からも橋本委員長をはじめ大阪ブロック7名、南大阪ブロック2名の全9名、トラックも大阪分会から5台が参加しました。今回のスローガンは「多重下請け構造の禁止、労基法改悪反対！」「大幅賃上げの実現で輸送・建設・国民生活の安全を確保しよう！」「カジノ建設中止！消費税及びインボイス制度の廃止」これらを掲げています。決起集会の最後に大阪トラック部会部会長でもある橋本委員長の「団結ガンバロー！」で指揮が高まり、夢洲から出発したトラック31台がスローガン横断幕をトラックに掲げ大阪市民にアピールしました。

愛知

尾張分会は2月22日、春闘勝利に向けて「愛知自動車パレード」に参加しました。集会会場の近物レックス名古屋支店（名古屋市港区）には、車両が30台近く集結し、愛知トラック部会の仲間は約20名が参加しました。集会には、愛労連の西尾美沙子議長と日本共産党愛知県委員会のすやま初美副委員長が駆け付けて連帯あいさつを行い「ドライバー職は、プライドだけで生きていけるほど甘い世界ではない。交通運輸産業の安全と安心を実現するため、全力で戦おう」とする集会アピールを採択しました。集会後、愛知県庁付近までの約15kmをパレードしました。



兵庫

兵庫県本部第30回県本部委員会と26春闘決その後集会在3月1日(日)神戸市中央区文化センターで開催され、支部からは佐々木（神戸）、香川・平谷（東播）、の三名が参加しました。集会是記念講演に兵庫労連岡崎事務局長から「26春闘をどう闘うか」を受けました。その後、春闘勝利に向けた決意表明がおこなわれ、最後は全体の記念撮影、委員長のがんばろー三唱で閉会となりました。

26春闘に賃金上げよう！ 第27回中央委員会開催！！

1月31日～2月1日に東京・台東区民会館にて、第27回中央委員会が開催され支部からは執行部含めて4名が参加しました。足立中央執行委員長のあいさつでは「物価高騰に苦しむ国民を無視して高市内閣の自己都合で解散総選挙が行われる、自民政治、金権政治NOの審判を「下し26春闘要求の実現と合わせて奮闘しよう。」、続いて「中小企業での大幅賃上げの実現が、日本経済の回復や国民生活の実現にとって必要です。公取は今年から取引適正化法を用いて、元下契約にもきちんと介入できる仕組みの運用を始めている。トラックだけでなく、建設・製造業にも活用し、大企業が利益のため込みを続ける仕組みを改め、中小企業の経営改善と賃上げにつなげよう」と呼びかけられました。その後、広瀬中央書記長より26中央春闘方針、統一要求基準などの提案がありその後全体討論が行われ、支部からは筒井書記長が「京都府本部26春闘についてと京都府知事選カンパの訴え」、村上全国トラック部会幹事が「トラック部会の25年総括・26春闘について」発言を行いました。最後には全ての議案を採択し、2026春闘闘争宣言を確認しました。



労使共同で全国トラック協会、国土交通省、経済産業省、産業医療ガス協会へ要請

2月2日、中央運輸労使協議会が主催した中央労使行動が行われ、組合側37名、経営側6名が参加し、関西合同支部からも6名、経営側から関西急送水谷エリア長が参加しました。今回の行動では全国トラック協会をはじめ、国土交通省、経済産業省、産業医療ガス協会への要請行動を行いました。

全国トラック協会要請では「トラック運輸産業の将来展望について」と題した要請書を提出し、適正運賃収受に向けた取り組みの強化、高速道路の利用割引制度拡充とSAなど駐車スペースの拡充、外国人労働者受け入れなどについて意見交換を行い、日常業務で感じている問題点の改善要望を強く訴えました。

また午後からは参議院議員会館に場所を移して国土交通省、経済産業省と安全・安心のトラック輸送の実現と業界秩序の確立、事業の経営環境改善、トラック運転手の労働環境・労働条件改善に向けた対策を抜本的に強化すること求めて要請を行いました。

国土交通省との要請では、はじめにこの間、各職場でこの間取り組み集約した請願署名を提出しました。

当面の日程<2026年>

3月18日 支部統一行動

3月24日 関西急送 第2回春闘交渉

3月30日 書記局会議（支部事務所）

4月 3日 全国トラック部会全国統一行動

4月16日 第684回支部執行委員会



QRコード



HomePage

関西合同支部



スマホやタブレットで読み込んで下さい。
支部ホームページに簡単に入れます。

組合員専用ページパスワード
「oideyasu」（おいでやす）

